

「地層グミ」を製作

中学生のアイデア実現

地質調査や、さく井工事などを手掛ける、日さく(さいたま市、若林直樹社長)は、販促品として「地層グミ」を製作した一写真。中高生が企業や地域について探究し、参画企業へビジネス提案する、さいたま市主催の「さいたまエンジン」で、与野南中学校の生徒が考案した企画を実現させた。取引先や地域住民のほか、展示会や会社説明会で配布している。

さいたまエンジンの授業は、本来は企画の提案までがゴールとなる。今回は、中学生の「子どもから大人まで楽しく地層について学んでほしい」という思いに、



若林社長が「地域の中学生に喜んでもらいたい」と応える形で、若手社員を中心としたプロジェクトチームが発足した。埼玉県よろず支援拠点、奥井組(入間市)、大成包材(伊奈町)などが協力した。

グミは、オレンジ色のエナジードリンク味と、半透明のコーラ味の2層構造となっている。ボーリングの様子が描かれているパッケージは社員が手掛けた。



パッケージは社員がデザインした